

# あったか家族応援プロジェクト 家族一緒に<食事><おしゃべり> <お手伝い>

地域の  
特色ある  
活動

富山県射水市教育委員会

## はじめに

本市は、富山県のほぼ中央に位置し、北に富山湾、南に射水丘陵を臨む自然豊かな海と野と山のまちです。人口約9万2,000人、7,310人の児童生徒が小学校15校、中学校6校に通学しています。教育委員会では、子供のよさを引き出す「あったか家族」を市民みんなで応援するプロジェクトを進めています。

## 1 本市の教育基本理念

「豊かな人間性と創造性を備えた、たくましい人材の育成、射水市を担い、様々な分野で活躍できる人づくり」

キーワードは「たくましく生きる」です。教育施策のほとんどを、たくましさの基盤となる<自尊感情>と<ふるさとへの愛着と誇り>に関連付けて推進しています。

## 2 家族の「当たり前」へのこだわり

「早寝 早起き 朝ごはん」は、全国的に知られる子供の基本的な生活習慣ですが、本市では「家族一緒に『食事、おしゃべり、お手伝い』」を家族の基本的な生活習慣とし、あったか家族の愛言葉として、その普及啓発に努めています。

### (1) 愛言葉三つの姿に込めた思い

家族と一緒に食事をするのもなく、おしゃべりもせず、あてにもされない子が、孤独感と不安感を抱えながら確かな学力と豊かな心を育てていくことは極めて難しいことです。だから、<食事> 週1回でも食事時間

を合わせようと気遣う家族がいる。<おしゃべり> 短い時間でも、どんな話でも「あのね」で話せる家族がいる。<お手伝い> 「ありがとう」「おかげで助かったよ」「ご苦労さま」の声を掛け合う家族がいる。そんな当たり前前の家族の輪の中に子供の居場所があるといいものです。愛言葉は、家族を見つめ育てるよりどころです。

### (2) あったか家族応援PJ推進の背景

#### ①愛言葉は、たくましさの基盤

今までの自分を大切に思い、これからの自分にわずかな自信をもつ。そんな自分を大事に思ってくれる人がいる。そう思える子は、たくましく生きることができます。子供たちは、周囲の人たちに認められたり、あてにされたりするから、たくましく育つことができるのです。

#### ②愛言葉は、子供たちの望み

子供が望むのは、「家族の笑顔」と「安心できる居場所」です。子供の安心と自信を生む家族の絆は、たくましさを支える力になります。

#### ③家族の絆を感じずに育つ子供たちの存在

全国学力・学習状況調査をみると、<食事> 約4割近くの中学生在が家族と一緒に朝食を食べていません。<おしゃべり> 約3割近くの中学生在が家族と学校での出来事を話していません。<お手伝い> 約3割以上の中学生在が家の手伝いをしていません。家族の絆と底力を感じながら育つ子を一人でも増やしたいものです。

#### ④愛言葉は、市民をつなぐキーワード

多くの人が家族の大切さを自覚し、家族の絆が失われつつある現状に不安を感じています。家族をつなぐ<食事><おしゃべり><お手伝い>の輪の中に子供の居場所をつくる呼び掛けは、市民をつなぎ、家族の絆を大切にする空気を市全体に広げる契機にもなると考えました。


### 3 家族の絆と底力を高める取組

#### (1) 保護者向けリーフレットの作成活用

平成 27 年に子供のよさを引き出す家族のキーポイントについて調査研究を行い、翌年これらをまとめたリーフレットを市 PTA 連絡協議会と作成し、小中学校全保護者に配布。以降毎年 3 月、全小学校新入生保護者対象の「子育て井戸端会議」で、市の家庭教育アドバイザー（約 60 名）が紹介。

併せて教育長や教育委員が、市内諸団体の研修会に出向いて説明したり、事業担当が地域への出前講座や各種団体・企業に協力企画を提案したりする等に活用しています。

#### (2) あったか家族ショート・ムービー配信

射水青年会議所が教育委員会の提案企画に賛同し平成 29 年よりあったか家族応援標語を募集。毎年 2,000 点を超える応募作品から数点を選び、家族のショート・ムービーを制作。脚本、出演等は市民参加。撮影場所は、市内建築会社のモデルハウス。作品は、現在 YouTube、市 HP 等で配信中です。

#### (3) 毎月 25 日「あったか家族の日」設定

毎月 25 日（ニコニコの日）を「あったか家族の日」として設定。市役所、学校等で早めの帰宅を呼びかけています。各学校では、愛言葉の実践を帰宅後の課題にしたり、ノー部活デーにしたりして様々に取り組んでいます。

#### (4) 「あったか家族応援隊」の組織化

平成 30 年には、教育委員会の呼びかけに参加協力する各種団体や企業・個人等を中心に「あったか家族応援隊」を結成。現在、教

育委員会と連携協力しながら活動を広げていきます。

#### ① あったか家族応援イメージソング制作配信

愛言葉を歌詞にした曲を全国募集。応募総数 155 作品の中から市内全児童生徒のシール投票等で選ばれた曲を、地元出身のシンガーの協力を得て市 HP やネットで配信。現在、イメージソングが流れる動画投稿を呼び掛け中です。

#### ② あったか家族のコットンバック全児童配布

愛言葉のイラスト入りコットンバックを全児童配布。利用者一人一人が愛言葉の発信者となる効果が期待されます。

#### ③ その他、愛言葉の普及啓発活動例

- ・社会教育団体：のぼり旗を協力活動に貸出
- ・スーパー：夏野菜カレー食材コーナー設置
- ・市図書館：あったか家族応援図書コーナー
- ・スポーツクラブ：親子で教室参加 500 円割引
- ・金融機関：あったか家族応援定期を商品化
- ・協力企業：主催イベントの親子招待券配布 他



### おわりに

家族の絆は、子供たちを支える底力となり、学びと心の育ちに大きな影響を与えます。3 月以来の学校臨時休業は、このことを強く再認識する機会となりました。こんな今だからこそ「あったか家族応援プロジェクト」を市民みんなで育て、推進していきたいと考えています。



教育長  
長井 忍